

武蔵野クリーンセンター 運営協議会 だより 55

武蔵野クリーンセンター運営協議会とは
1984年施設建設時に地域住民の安全と権利を守るために設置された
周辺住民3団体が参加するクリーンセンター運営の監視役。

CONTENTS

- P1…新クリーンセンター建設へ
安心で安全、景観など周辺に配慮した施設
コラム/ブラジル松のなぞ
- P2…新クリーンセンター完成予想図
- P4…活動報告
平成25年度役員体制、24年度決算・25年度予算、
25年度事業計画、他
エコなおつまみレシピ

新クリーンセンター建設開始へ 安心で安全、景観など、 周辺地域へ配慮した施設

武蔵野市は、新クリーンセンターの施設整備・運営の落札事業者を荏原環境プラント株式会社と鹿島建設株式会社のグループに決定しました。議会での審議・議決を経て、7月15日発行の市報で発表しました。運営協議会委員の参加する第二期施設・周辺整備協議会においても事業者選定報告会が行われ、決定の経緯や新クリーンセンターの完成予想図が説明されました。さらに7月下旬には、周辺地域で説明会が行われています。

決定のポイントは、安心で安全であることはもちろんですが、最新の設備で機械部分をまとめて、要求水準書より全体にコンパクトな建物で、周辺地域に配慮した景観や工夫が大きな決め手となりました。

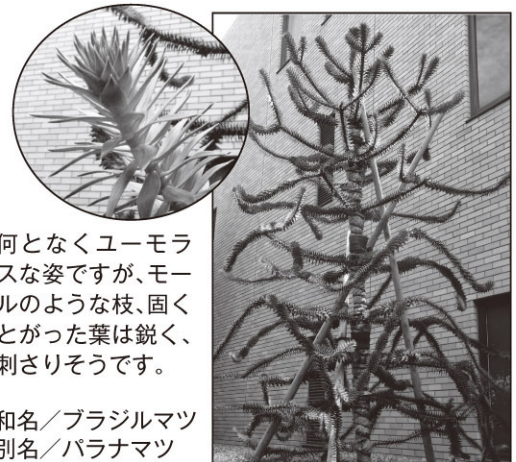
新クリーンセンターの整備・運営事業者は、価格評価300点+非価格評価700点の総合評価で決まりました。非価格評価のポイントは以下の4つです。

- ①環境保全に配慮した安心・安全な施設
- ②災害に強い施設
- ③景観及びデザインに配慮した施設
- ④地域社会への配慮

住宅地の中の狭い土地で周辺住民とのていねいな話し合いが必要なため、幅広い高度な技術と市民や地域の特性を理解することが求められます。これから建設工事が始まりますが、さらにより施設にするために、また啓発施設や周辺整備など、今後も運営協議会や施設・周辺整備協議会での検討が大事です。

なんでここに？ なぞのブラジルマツ

クリーンセンター事務棟入口脇に日本では珍しいブラジルマツがあります。約25年前、武蔵野ラジオ体操連盟がブラジルラジオ体操連盟から友好の印に種をもらって育て、連盟の20周年記念として平成10年に植樹しました。でも、なぜクリーンセンターにあるのでしょうか？ 最初は市民公園にありましたが、ごつごつした枝ぶりが危険なので、平成14年頃クリーンセンターに移植されたそうです。木材や食材として大規模に伐採され、今ではブラジルでも貴重な木だとか。ぜひ、一度ご覧ください。



何となくユーモラスな姿ですが、モールのような枝、固く、とがった葉は鋭く、刺さりそうです。

和名/ブラジルマツ
別名/パラナマツ

新しいごみ処理施設エコセンター(仮称)の完成

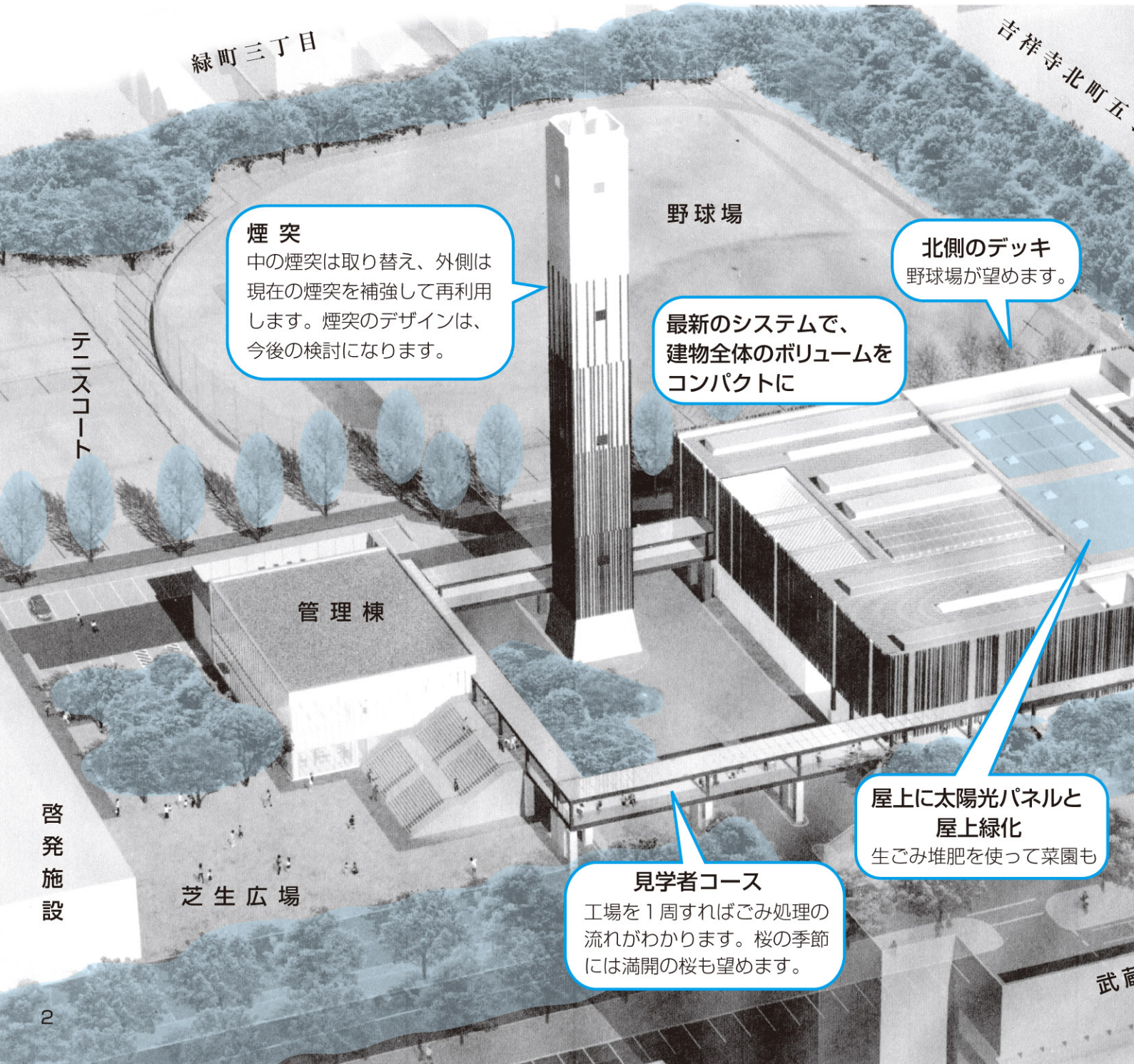
環境保全に配慮した 安心・安全な施設に

●ごみ発電により温暖化ガスを削減

ごみ処理工場は多くのエネルギー(電気)を使います。新しい施設は、ごみを燃やして発生する熱で効率的に発電する設備を導入します。さらに再生可能なエネルギー(太陽光発電、小水力発電等)も活用して、電気の消費を減らし、二酸化炭素排出量を削減します。

●安心・安全な施設

住宅街の中にある施設なので、何より安心・安全であることが必要です。新施設では日本一厳しい排ガス自主規制値を設けています。この基準を守るために最新の設備で、安全な資源化・処理システムが装備されています。



煙突

中の煙突は取り替え、外側は現在の煙突を補強して再利用します。煙突のデザインは、今後の検討になります。

野球場

北側のデッキ
野球場が望めます。

最新のシステムで、
建物全体のボリュームを
コンパクトに

屋上に太陽光パネルと
屋上緑化
生ごみ堆肥を使って菜園も

見学者コース

工場を1周すればごみ処理の流れがわかります。桜の季節には満開の桜も望めます。

啓
発
施
設

芝
生
広
場

管
理
棟

災害に強い施設

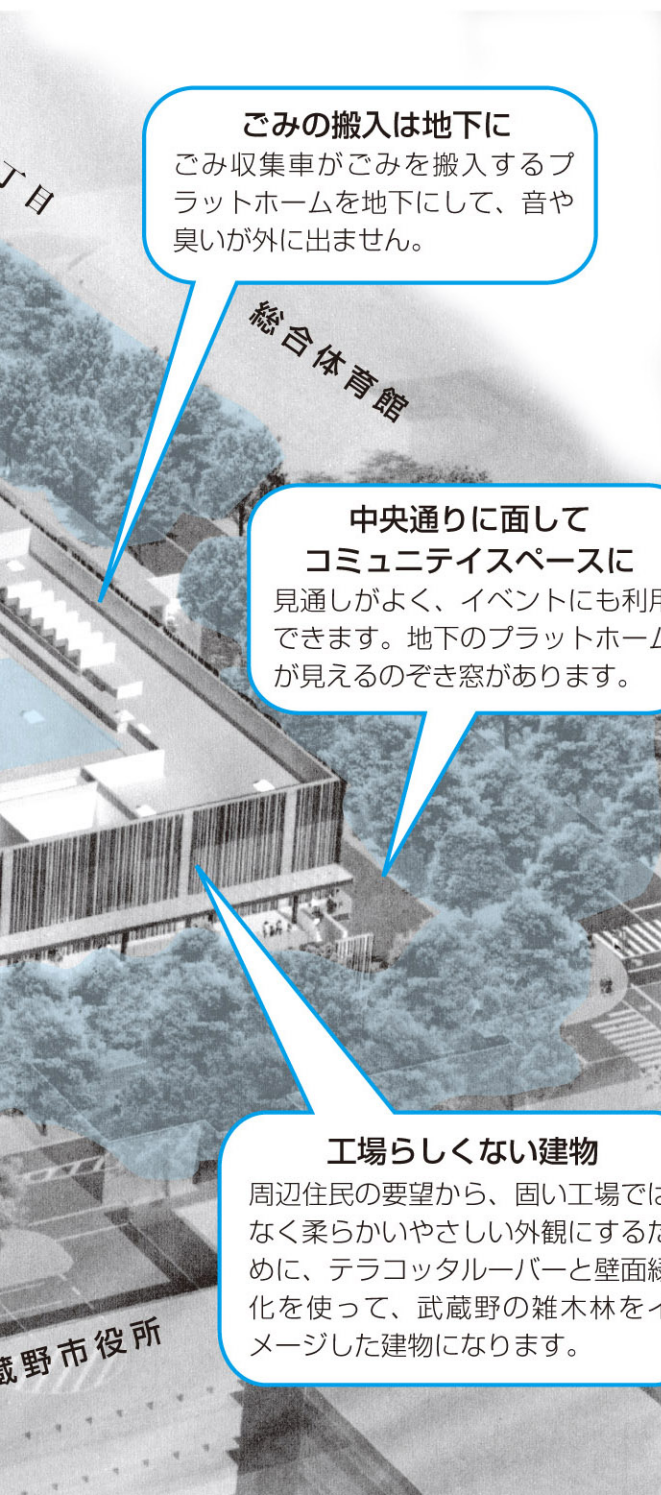
●大地震にも強い施設

建物と煙突の構造は、耐震基準の1.25倍の強度です。

●ごみ発電設備の導入で、エネルギー供給

現在のクリーンセンターは、ごみを燃やした熱を蒸気にして、市役所・総合体育館・第四中学校のプールに送り、給湯や冷暖房、温水プールに活用しています。新施設では、さらにごみ発電設備を導入して、電気も市役所・総合体育館・緑町コミュニティセンターに供給できるようになります。

また、災害時にも発電・エネルギー供給ができるシステムなので、ごみ処理を継続することができます。



ごみの搬入は地下にごみ収集車がごみを搬入するプラットフォームを地下にして、音や臭いが外に出ません。

総合体育館

中央通りに面してコミュニティスペースに見通しがよく、イベントにも利用できます。地下のプラットフォームが見えるのぞき窓があります。

工場らしくない建物
周辺住民の要望から、固い工場ではなく柔らかいやさしい外観にするために、テラコッタルーバーと壁面緑化を使って、武蔵野の雑木林をイメージした建物になります。

武蔵野市役所

周辺地域に配慮した景観と建築デザイン

●工場を感じさせない外観

建物の外観は、テラコッタルーバー(※)や壁面緑化を用いて、武蔵野の雑木林をイメージしたデザインです。

※テラコッタルーバーとは、羽板を縦または横に組んで取り付けた素焼きの外装材。羽板の向きを変えて直射日光や通風を加減します。

●建物のボリュームをコンパクト化

最新技術を用いた焼却プラントシステムで、要求していた大きさより建物全体の大きさが抑えられています。

●ごみの搬入は地下へ

建物の高さを抑え、収集車がごみを搬入するプラットフォームを地下にして、臭いや音も外に出ません。

●イベントにも使えるコミュニティスペース

プラットフォームの上は、見通しのよい空間になり、イベントなどにも使えるコミュニティスペースになります。

のぞき窓からは地下のプラットフォームが望め、ごみの搬入も見学できます。



平成25年度 運営協議会委員

会 長／高橋 豊 (北町五丁目町会)
 副 会 長／木村 文 (緑町二丁目三番地域住民協議会)
 会 計／藻谷 征子 (緑町三丁目町会)
 会 計／千綿 澄子 (緑町二丁目三番地域住民協議会)
 会計監査／早川 峻 (北町五丁目町会)

島森 和子 (北町五丁目町会)
 狩野 耕一郎 (緑町三丁目町会)
 和田 善一郎 (緑町三丁目町会)
 興梠 信子 (緑町二丁目三番地域住民協議会)
 木村 浩 (環境部参事)
 和地 稔 (クリーンセンター所長)

※高橋健一さん(北町五丁目町会)と越智征夫さん(緑町三丁目町会)が退任されました。

新施設に向け、市民一人ひとりがごみ減量を

クリーンセンター運営協議会 会長／高橋 豊

クリーンセンター運営協議会は、施設稼働開始の昭和59年に発足し約30年になります。施設の老朽化に伴い建て替えに向けて第二期施設・周辺整備協議会では、単なる焼却場ではなく、「低炭素社会のモデルとして廃熱を可能な限り再利用するエネルギー供給施設(エコセンター)」や「ごみから学び、ごみから新たな価値をつくる、ごみを媒介に対話を生み出す地域力の向上に取り組む啓発施設(エコプラザ)」の検討を重ねてきました。次期協議会においても運営のあり方について継続協議してまいります。

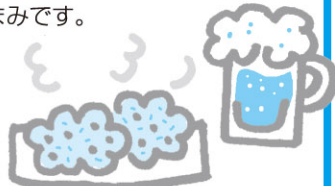
武蔵野市は「セカンドステージ! 武蔵野ごみチャレンジ600g」を目標に、一日に1人が出す家庭ごみの減量を呼びかけています。1人ひとりがごみ減量を考えなければごみ問題は解決できません。新施設稼働開始の平成29年度までに年間1,000t以上のごみ減量が必要です。クリーンセンターを通してごみや環境問題に関心を持っていただき、市民1人ひとりがごみの減量に努めましょう。

エコなおつまみレシピ **かんたんかき揚げ**

冷蔵庫の残り物を使って、むだなくごみ減量を。

①ハム数枚、茹でたコーン(缶詰でも)、枝豆などを混ぜ合わせ、かき揚げにする。塩を振りかけ、できあがり。ビールにぴったりのおつまみです。

※材料はキッチンペーパーなどで水気を拭き取り、小麦粉を先にまぶして、冷水を入れるのがコツ。



●平成24年度 運営協議会決算

単位=円

収 入		支 出	
市補助金	1,000,000	事務費	0
その他の収入	91,623	広報費	364,200
前年度繰越金	407,707	事業費	592,978
		会議費	2,500
		備品費	128,100
		予備費	5,000
計	1,499,330	計	1,092,778
	次年度繰越金		406,552

●平成25年度 運営協議会予算

単位=円

収 入		支 出	
市補助金	1,000,000	事務費	5,000
その他の収入	60,000	広報費	365,000
前年度繰越金	406,552	事業費	880,000
		会議費	40,000
		備品費	100,000
		交際費	5,000
		予備費	71,552
計	1,466,552	計	1,466,552

●平成25年度 事業計画

1. 運営協議会会議開催 (4・5・8・10・12・2月)
2. イベント
ごみから学ぶワークショップ広場 (8月31日)
3. 「運営協議会だより」発行 (7・11・3月)
4. バス研修会 (10月)
5. 運協委員視察研修 (11月)
6. 理事者との意見交換会 (12月)
7. 環境健康診断 (2月～3月)

●クリーンセンターの人事異動

平成25年4月1日付

名 前	新	旧
三浦 伸夫	環境部クリーンセンター 新クリーンセンター建設担当係長	都市整備部建築指導課 構造設備係長
菅野 浩司	環境部 クリーンセンター管理主査	財務部施設課施設主査
森 啓二	都市整備部道路課 道路管理係主査	環境部 クリーンセンター管理主査

イベント情報

詳しくは後日お知らせを配布します。

ごみから学ぶワークショップ広場

日時／8月31日(土) 12時～16時

場所／武蔵野クリーンセンター事務棟他

主催／クリーンセンター・クリーンセンター運営協議会

内容／ごみから遊んで学べるワークショップ、おもちゃのかえっこ + おもちゃ病院、環境遊具で遊べるエコランド、クリーンセンター工場見学、デキシーランドジャズ演奏、他(予定)。どうぞ、お楽しみに!

* 編集後記 *

いよいよ工場建設が始まるが、気がかりなことがある。震災以降、生ごみの資源化が停滞していること、新クリーンセンターについての検討が市民全体の議論になかなかならないこと。今後の大きな課題である。(木村 文)

編集・発行／武蔵野クリーンセンター運営協議会

〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5 武蔵野クリーンセンター内
 電話：0422-54-1221

●武蔵野市ホームページ

<http://www.city.musashino.lg.jp/>